

## CX-Protocol バージョンアップソフト (Ver.1.1x ->Ver.1.20) 利用手順

はじめに

このバージョンアップソフトは CX-Programmer Ver.2.10 に付属している CX-Server Ver.1.60 か、それ以降のバージョンの CX-Server がインストールされていることが前提です。そうでない場合には、CX-Programmer Ver.2.10 以降とその CX-Server をインストールした後にバージョンアップソフトをご利用ください。

バージョンアップの流れ

以下に、CX-Protocol バージョンアップソフトを利用して、CX-Protocol Ver.1.1x 日本語版から Ver.1.20 日本語版へのバージョンアップを行うために必要となる操作の流れについて説明します。

- 1) 現在の CX-Protocol のバージョン確認
- 2) バージョンアップソフトのダウンロード
- 3) バージョンアップソフトの実行
- 4) バージョンアップの確認

現在の CX-Protocol のバージョン確認

バージョンアップソフトは、CX-Protocol Ver.1.10 用および Ver.1.11 用があります。パソコンにインストールされている CX-Protocol のバージョンを必ずご確認ください。確認方法は CX-Protocol 起動後に[ヘルプ] | [バージョン情報]において表示されるバージョンにより確認することができます。

- 表示バージョンが 「Release: 1.10」 -> Ver.1.10
- 表示バージョンが 「Release: 1.11」 -> Ver.1.11

バージョンアップソフトのダウンロード

1. CX-Protocol Ver.1.20 へバージョンアップするためのバージョンアップソフトを、CX-Protocol Ver.1.1x がインストールされているパソコンのハードディスク上へコピーする必要があります。

次のファイルをダウンロードし、CX-Protocol Ver.1.1x がインストールされているパソコンのハードディスク上へコピーします。

- Ver.1.10 用           CXPr110\_120J.exe
- Ver.1.11 用           CXPr111\_120J.exe

これらのファイルは自己解凍型のファイルですので、エクスプローラでダブルクリ

ックすることにより解凍できます。また、デフォルトの解凍先ディレクトリは C:\¥CXPrt120VU となります。

次の 8 個のファイルが解凍先ディレクトリへ展開されたことを確認してください。

- data1.cab
  - data1.hdr
  - data2.cab
  - ikernel.ex\_
  - layout.bin
  - **setup.exe**
  - setup.ini
  - setup.inx
2. ここで、上記ファイルの中から setup.exe を実行することにより、バージョンアップソフトによるバージョンアップが開始されます。バージョンアップ終了後、本ファイルとそのディレクトリは削除しても構いません。

#### バージョンアップソフトの実行

ここでは、バージョンアップソフト起動後のバージョンアップ操作について説明します。(ダイアログの表示例は Ver.1.10 用のバージョンアップソフト実行時のものです。)

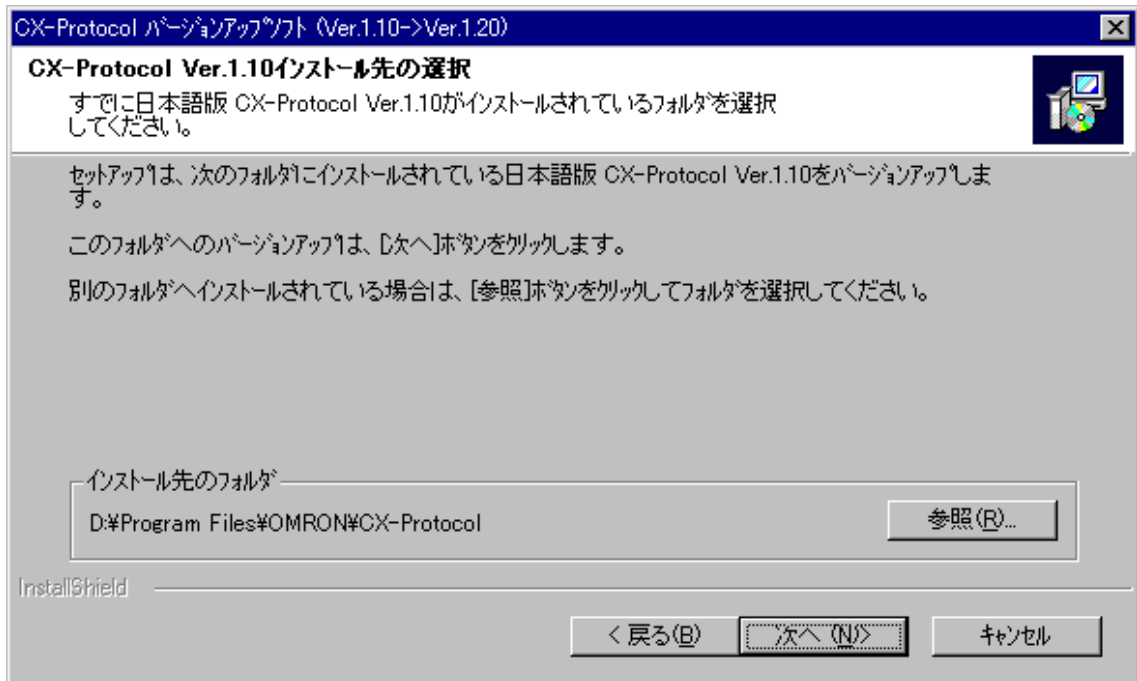
1. バージョンアップソフト起動後に次に示すダイアログボックスが表示されます。



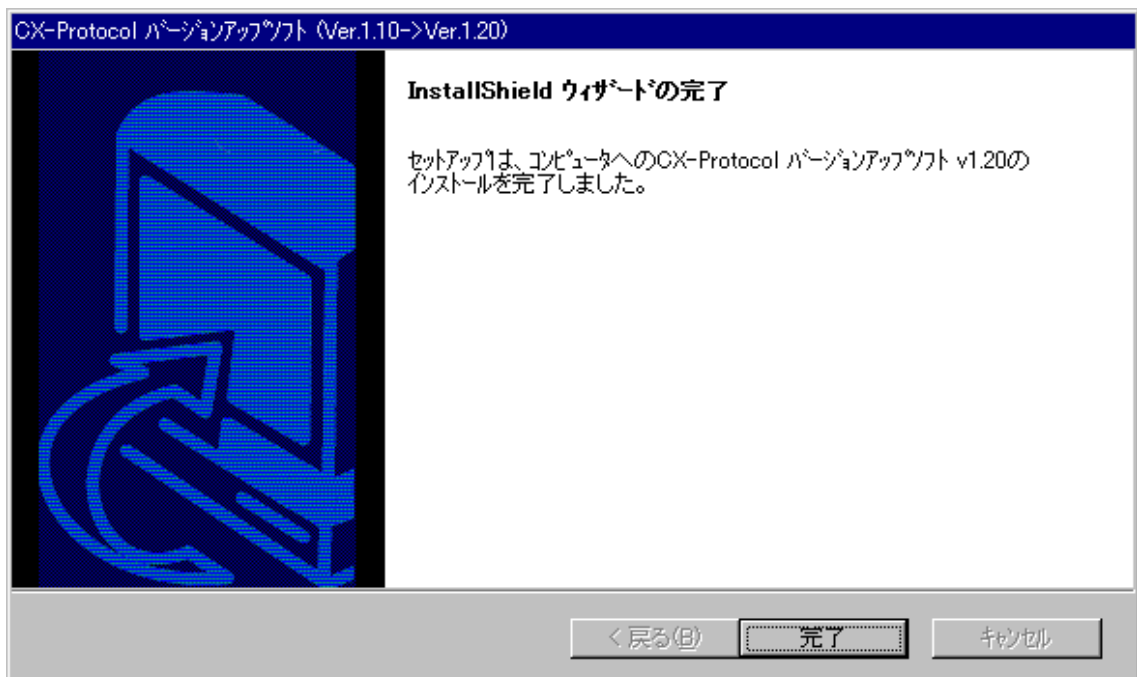
2. [次へ]ボタンをクリックします。[使用許諾契約]ダイアログボックスが表示されます。
3. [使用許諾契約]をよくお読みになり、すべての条項にご同意いただける場合は、[は

い)ボタンをクリックしてください。

次に示す[CX-Protocol Ver.1.1x インストール先の選択]ダイアログボックスが表示されます。



4. CX-Protocol Ver.1.1x がインストールされているディレクトリを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。通常はデフォルトで表示されているフォルダですので、そのまま[次へ]ボタンをクリックします。
- バージョンアッププログラムにより、自動的に指定のディレクトリにインストールされている CX-Protocol のファイルがバージョンアップされます。
  - バージョンアップが終了すると、次に示すダイアログボックスが表示されます。



5. [完了]ボタンをクリックします。
  - 以上で CX-Protocol のバージョンアップは終了です。
6. CX-Protocol を起動後、[ヘルプ] | [バージョン情報]で[Release: 1.20]と表示されていることをご確認ください。

#### 注意

インストールの途中で次に示すダイアログが表示された時は、正しくバージョンアップ作業が終了できていません。



CX-Protocol Ver.1.1x がインストールされているかどうか、またインストールされている場合にはどのディレクトリにインストールされているかを再確認した上で、もう一度、バージョンアップソフトを実行してください。

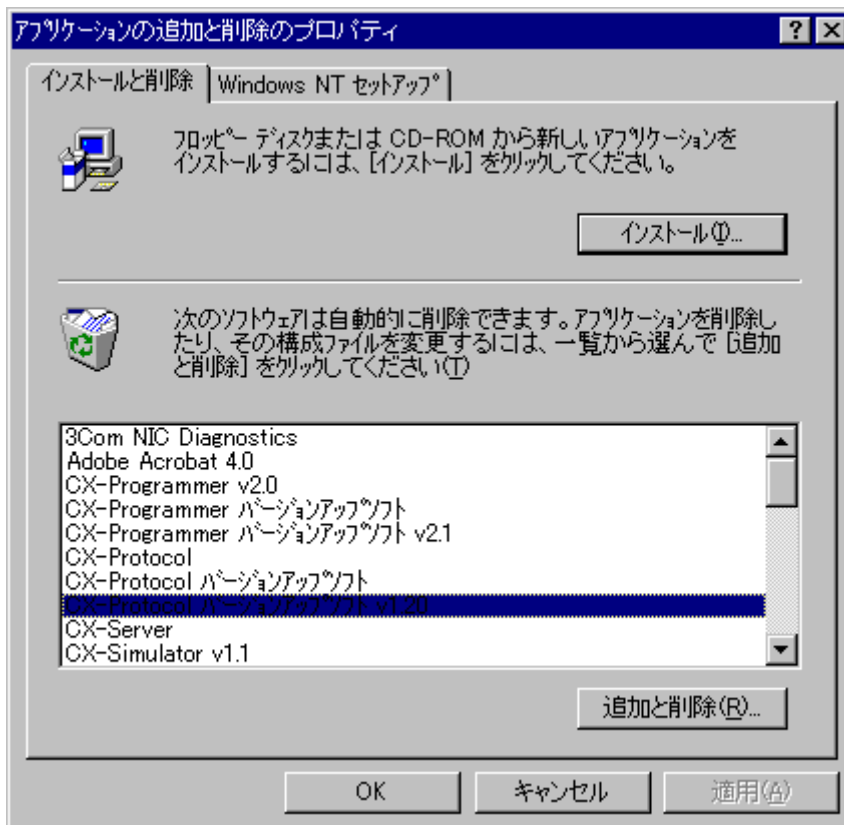
## アンインストール

ここでは、CX-Protocol 関連のプログラムをアンインストールする手順を以下に示します。

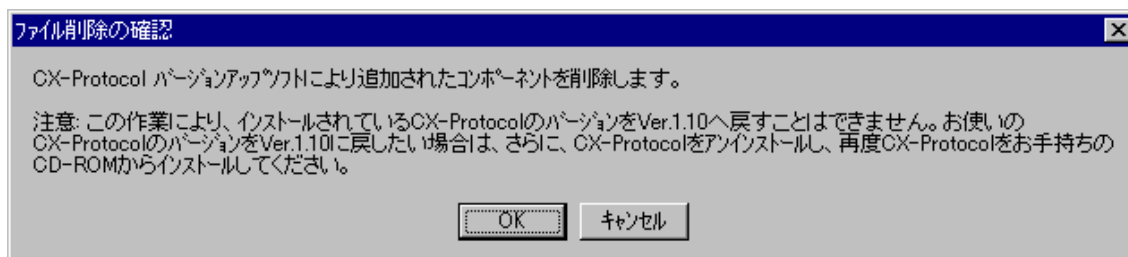
CX-Protocol 関連のプログラムをアンインストールするには、次に示すアプリケーションの削除を実行する必要があります。

- CX-Protocol
- CX-Protocol バージョンアップソフト (以前に Ver.1.10 から Ver.1.11 にバージョンアップしている場合のみ存在します)
- CX-Protocol バージョンアップソフト v1.2

1. [スタート] | [設定] | [コントロールパネル] | [アプリケーションの追加と削除]を起動します。次に示すような[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



2. 初めに、[CX-Protocol バージョンアップソフト v1.2]を選択します。
3. [追加と削除]ボタンをクリックします。次に示すダイアログボックスが表示されます。



4. [OK]ボタンをクリックします。  
アンインストールが実行されます。  
この作業では、一度バージョンアップした CX-Protocol を再び以前のバージョンに戻すことはできません。バージョンアップソフトにより追加されたコンポーネントの削除だけが行われます。
5. アンインストールが終了したら、[完了]ボタンをクリックします。  
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。
6. 次に[CX-Protocol バージョンアップソフト]を選択します。ない場合には、8に進みます。
7. [CX-Protocol バージョンアップソフト v1.2]と同じ要領でアンインストールします。  
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。
8. 次に[CX-Protocol]を選択します。
9. [追加と削除]ボタンをクリックします。  
確認のためのダイアログボックスが表示されます。
10. [OK]ボタンをクリックします。  
アンインストールが実行されます。
11. アンインストールが終了したら、[OK]ボタンをクリックします。  
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。

以上でアンインストールは終了です。これによりインストール対象マシン上の CX-Protocol のファイルは全て削除されます。しかし、インストールディレクトリ以下に新たにファイルやディレクトリを追加した場合には、インストールディレクトリ以下のディレクトリ構成と追加したファイルはアンインストール後も残ります。

したがって、完全に CX-Protocol 関連の情報をマシンから削除するには、[アプリケーションの追加と削除]実行後、インストールディレクトリ以下を全て削除しなければなりません。